

善意でお世話していた
裏のおじさんに
寝取られる人妻

あとり 秋尚



とうとう私達夫婦も
夢のマイホームを
持つことができました

ご近所は裏の家に
一人暮らしの辰野さん



辰野さんの年齢は
私の父より少し上くらい…

体が大きい方なので
最初は少し怖い印象を
持ったりしていたのですが

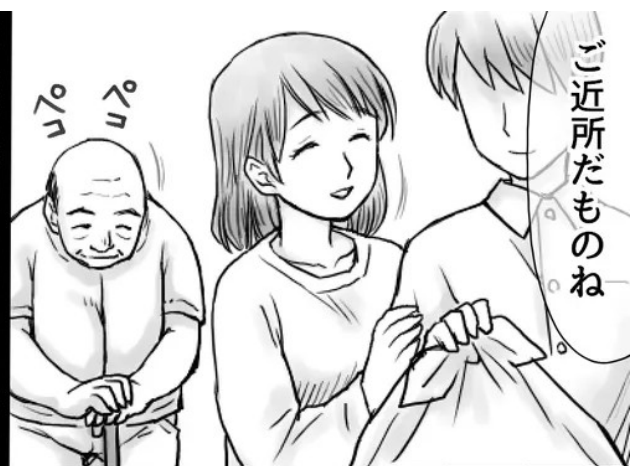
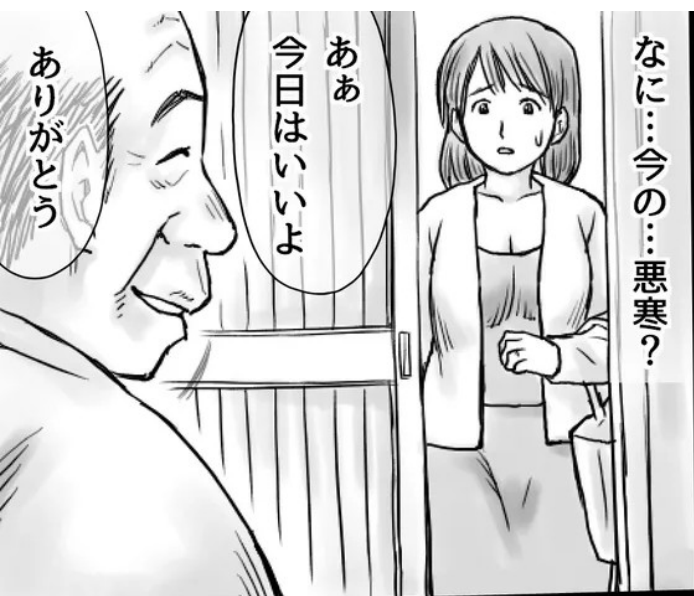


ただ

辰野さんは 足が不自由だったので
私達夫婦は できる範囲で 生活の
お世話を してあげようと 決めたのです

といっても
ゴミ出しとか
買い物の手伝い
くらいですけど…





実は私… 胸には少し
自信があるんです

エッチの時は
いつまでも
もんだり吸ったり…

ちゅばちゅば

私の胸は
夫のお気に入り

もみもみ

もう
赤ちゃん
みたい

ああん

夫のペニスが私に挿入された時
私はベッドわきのカーテンを閉め忘れていた事に
気がつきました

この寝室は裏の辰野さんの家から
丸見えなんです

：ううん 大丈夫よね
辰野さんの家に明かりは点いてないし
カーテンだって閉まつてる：

あッ

あん

…でも

あん

くっど…

グッ
グッ

私はふと
あの時の悪寒を
思い出していました



結局昨日は
開いたままのカーテンが気になって
最後までイク事ができませんでした

5日ぶりだったのに…
途中で止めてでも
閉めればよかったわ

エッチの翌日は
シーツを洗って
布団を干します

夫はやさしくて
とてもいい人なんだけど
少し淡泊というか…

セックスが週に1回って
やっぱり少ないわよね

そろそろ赤ちゃんも欲しいし…

一度ちゃんと
話し合って
みようかな…

…その前に
この体のうずきを
処理しなくちゃ



あ…カーテン…



辰野さんの家は
閉まつてる

…大丈夫よね



もう脱いじやってるし



止められない

昨日のリベンジだもの
あえてこのままイッちゃう



あ…っ

ああ…

今日は…いつもより
指の動きが激しいかも…

あ…

はああ

だって昨日からずっと
体がうずいてたんだものだから…

ああ
もう少しで

ギイ…



…た

辰野さん？



ぬちゅ
ぬちゅ

クチュ
クチュ



どうして
ここに

あの

奥さんに買い物
頼もうと思ってな

なにかの時は
声を掛けるようにと
言ってくれただろう？

私は 頭の中が
真っ白になっていました

ところで
奥さん

その続き…
わしで良ければ
手伝おうかい？

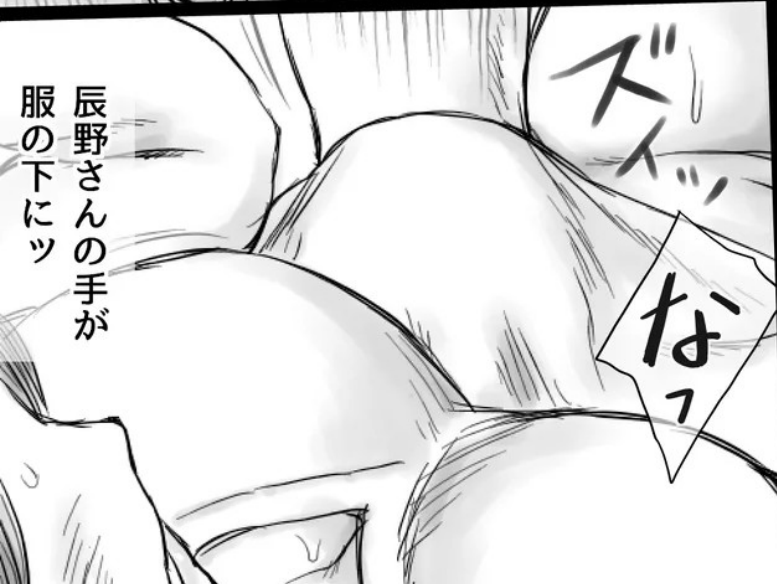
遠慮は無用
奥さんにはいつも
世話になっているしな

悪寒

よ…

な

なにこれ



辰野さんのザラついた手が
私の肌をまさぐりながら
登ってきます

私は怖くて
声をあげる事も
できませんでした

いやっ

もみっ

ぎゅっ

ぎゅっ

ぎゅっ

もみっ

辰野さんの手は 下着を押し上げて
私の両方の乳房を

直接 わしづかみにしました

ズイッ

ズイッ

あ…

しかもその指は
乳首をさぐってる

くりっ

!!



ああん

どうして
こんな声が出たのか
わかりませんでした

おっと

もう感じて
きたのかね

敏感だな

ち
違
う
私
は



では体に
聞いてみるか



そんな
あゝ…

夫が好きな…
夫にしか許していない私の胸が
辰野さんの目の前に

乳首は
七分立ちと
いったところか

次の瞬間

辰野さんのはげた頭が
私の視界に

飛び込んできました

がばっ



辰野さんが私の胸に
顔をうずめています

乳房の谷間に
舌を入れて
乳首を指でつまんで

あぐあぐ

いやっ

辰野さん
ダメっ

私は辰野さんを
押しのけようとしたが
ビクとしません

乳首をかんだ？

グッ

!!

へいへいっ

辰野さんの
乳房の扱いは夫とは
全然違いました

そそんな
乱暴にしないで

ああ
ああ

で…でも
それがだんだん…ん

気持ち…
いい？



体は正直な
ようだな

う
嘘…



ダメっ
今私のおそこは…

ああ

ぬちゅ
ぬちゅ

…や

ぐ
ぐ

辰野さんの手が下腹部にッ

あッ



!!



かわいそうに
こんなに濡らして

どれ…
どんな具合なのか
見てやろう

や

ほほう
これが奥さんの

いや…

ああ

しっ

えっ





私の恥ずかしい汁を
辰野さんにすすられてる

そそんなに
大きな音を出して
吸わないで

あ…
あ…
あ…

ぢゅるっ
ぢゅるっ

ぢゅるっ



それは
私の性器から出た音

辰野さんのクチビルは
厚くて大きいから
吸い付く感じが夫と違う

舌も長いっ…
性器のヒダを
押し開いて
中まで入ってくるう

き…気持ちいい

違う そんな事
ありえない

ああでも
体の奥が熱くてとろけそう…

や…

だだ
め







それだけは...
それだけは
絶対にダメッ

それはタッ
辰野さんッ

グッ



入っちゃう

辰野さんのペニスが
入っちゃうッ

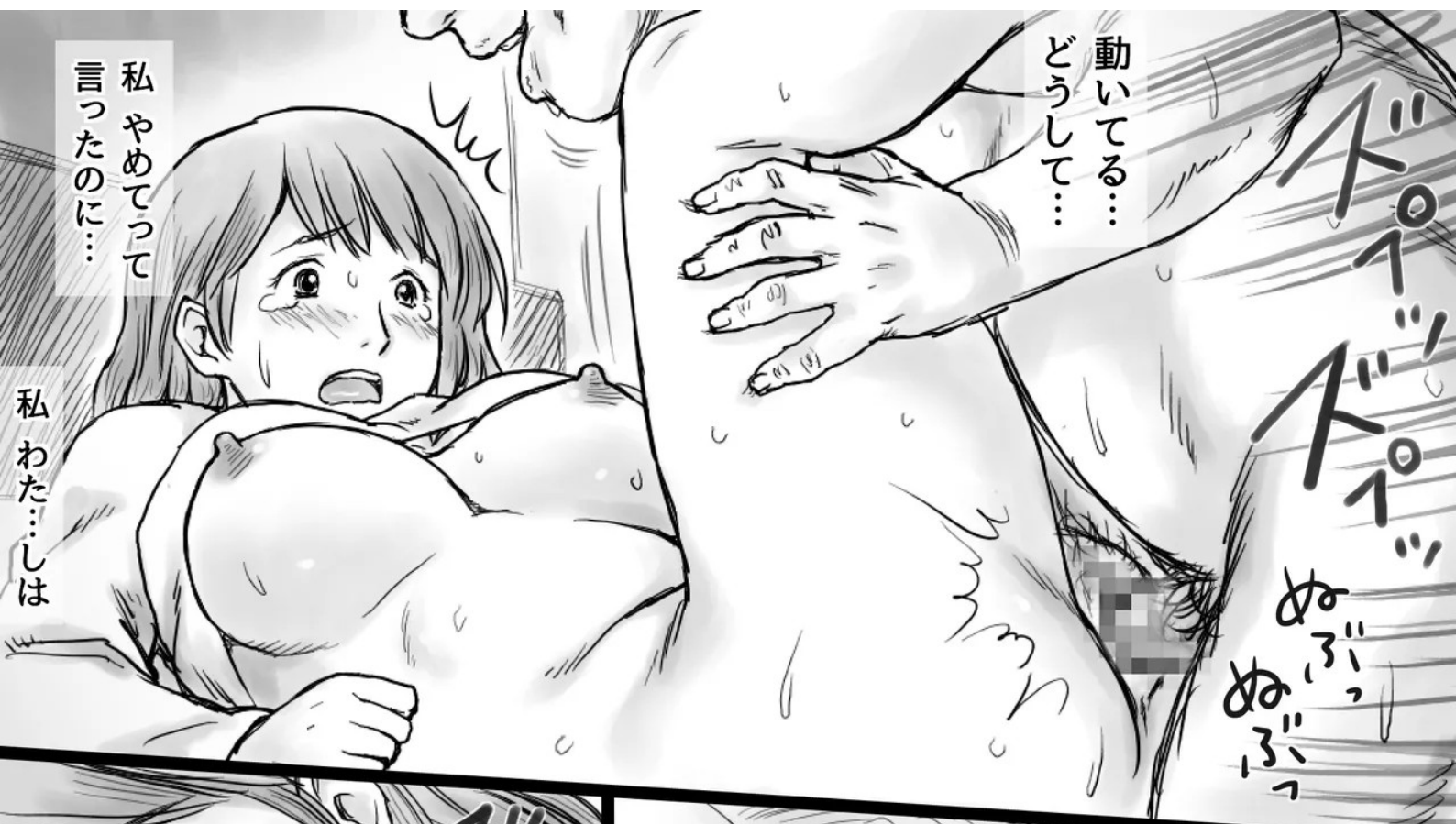


ぬっ



あ

びん



私やめてって
言ったのに...

動いてる...
どうして...

ド
イ
ッ
ド
イ
ッ

ぬ
い
ッ
ぬ
い
ッ

私
わ
た
し
は



ド
イ
ッ
は
ん
ッ

こんなの
完全にセックス



ド
イ
ッ
ド
イ
ッ

ああ
こんなの...

お奥まで…
夫のペニスじゃ 届かない部分まで
押し広げて突かれてるう

っあ

たふっ

すごい
こんな…

あ

はあん

たふっ

ダメ
声が出ちゃう

ぎゅ

どうしよう
本当に私
これ以上はダメ…

そろそろ
イクかね

ん

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ



辰野さんの動きが
激しくなった

ここんなの
本当にイッちゃう

ひっ

すぼっすぼっ!!

えっそ
そんな…

辰野さん
避妊具を付けてない

辰野さんを相手に
イクなんて
これからの生活が

はん
はんッ

バチン
バチン
バチン

生で挿入なんて
夫とも数回しか…

そ
そんな…
どうしよう

ごめんなさい
あなた
ごめんなさい

奥さん
一緒にイクぞ

いい
イク？

だダメ中に
出されちゃう

な
中は

は 激しい
イッちゃう
イッちゃうう

ああ

私…私

ズボ
ズボ
ズボ

バグッ
バグッ





そそんな
イツちやった

私… イツてる

今
イツたね
奥さん

わしと
一緒に

はあッ

相手は
辰野さん…ん

…ああ
辰野さん…
中に…

辰野さんのペニスが
中で脈打ってる…
中に…出してる…

は…

んんん

まだ…出てる…

ああ…

辰野さん

そんな…

そんな…

ブルッブルッ

どくっ

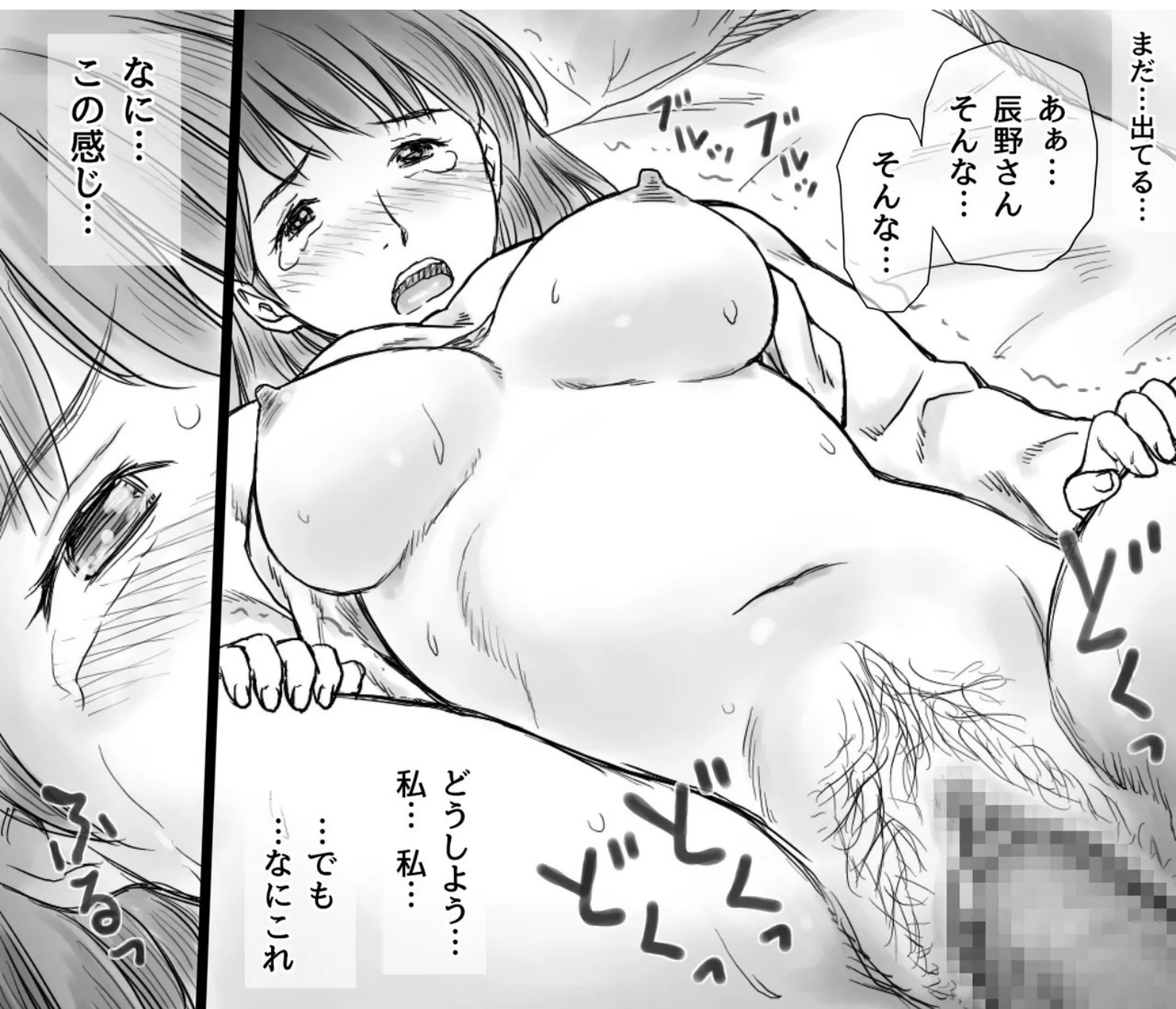
ズルッ
ズルッ
ズルッ

どうしよう…
私…私…

…でも
…なにこれ

なに…
この感じ…

ふるっ



辰野さん…
いつでもおいでって…
そう言って帰ったけど…
…どういう意味…

私…

どうしてこんな事に…

…夢？

これって夢？

でも…
これは…



その夜…

私は
自分から夫に
性行為を求めました

夫は少し
驚いたようですが
快く受け入れて
くれました

私の目的は
避妊しない
膣内射精です

私には
こんな対策しか
思いつきませんでした



生で…挿入

くちゅ

今日は…
安全日だから

…嘘です
計算しました

危険日ではないけど
可能性はある日でした

夫は私の言葉を信じて
腰を振ってくれています

フッ

フッ

フッ

…あれ…
突かれる感じが軽い…
ペニスも細くて短い…

辰野さんのは
もつと奥までズンズンと
押し込むような…

やだっ 私ったら
なにを考えてるの

…う

え…

で出るっ

ヌポッ
ヌポッ
ヌポッ

ヌポッ
ヌポッ
ヌポッ

もうっ？

…夫の…
はじめての膣内射精でした…

ああ…ん

私は…思わず
演技をしてしまいました

今夜も…

辰野さん…

カーテンを
閉め忘れてる



翌日…
夫が仕事に出てから
私は あの場所に…



辰野さんの家の
カーテンは閉まったまま…



でもきつと
すき間からのぞいてる…



そう思うだけで
私は 下腹部が熱くなるのを
感じていました…

……
そうだわ…

そういえば 昨日 辰野さんは
私に 買い物頼みに来て あんな事に…

私… 辰野さんの 買い物
してあげなくちゃ…

辰野さんは 足が不自由なんだから
ゴミ出しとか 買い物
お世話くらいは してあげようって
これは 夫と決めた事だもの

それに…

昨日 みたいな事は もう二度と しないよう
ちゃんと 辰野さんと 話し合って…

これまで 通りの おつきあいに 戻って…

とにかく辰野さんともう一度会って…



た辰野さん
昨日頼みに来た
買い物を…

辰野さ…ん

声だけ掛けて…
寝てるのならそのまま帰れば
いいんだし…



帰る？

でも…

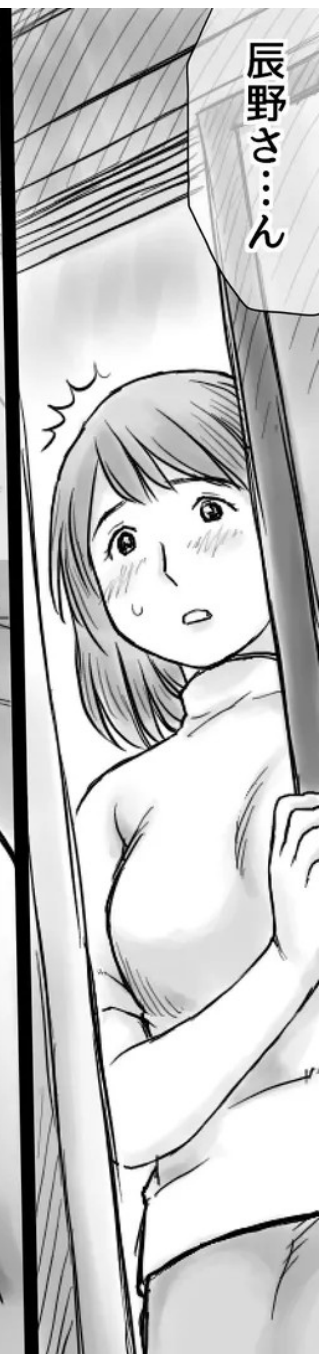
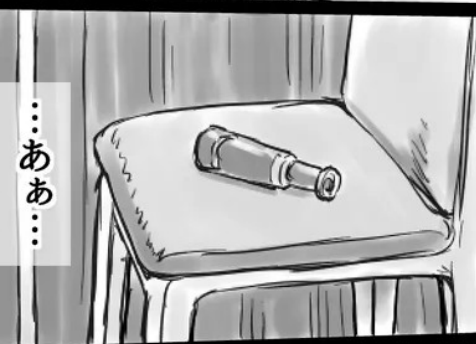
辰野さんの寝室は確か
あのカーテンの部屋…



…た辰野さん
あの…

買い物があれば
私…それと
昨日の事で…

…
開けますね



ダメ…この部屋に入っては…

帰らなきゃ

でも…

か 帰るのよ
どうしたの…

あ…あ

辰野さんに手を引かれ…

その手が 辰野さんのペニスに
触った瞬間…



私は… 身も心も
辰野さんの 腕の中に
崩れ落ちていたのです



辰野さんと…
キスしてる

ねつとりと
舌をからめて…



私…
どうなるの…

ずるっ
ずるっ

私は…辰野さんの布団の上で裸になりました…



辰野さんの目の前で…
自分で脱いだんです



私…
どうして…

辰野さんのペニス…
色は黒いしすごい臭い…



辰野さんが私の顔を
ペニスに導きます…

でも…

ああ
…私…

ちゅ

舌先できれいにして…
どういうつもり…

ぽろぽろ

どうしてこんな事まで…

あむっあむっ

今夫以外のペニスをなめてる…

れろんれろん

ねろっ
ねろっ

ああ…しゃぶってる
亀頭をくわえ込んで…

こんなの…夫にも
した事ないのに…

んぐんぐ

私：辰野さんのペニスを
欲してる…

ああ…早く…

そんな気持ち
が抑えられ
ませんでした…

私は自分から辰野さん
にお尻を向けていたのです

おまんこ…

え…



言うんだよ
私のおまんこに
辰野さんのおちんぽを
突っ込んで下さいってな

そそんな 私：
そんなはしたない言葉

ここにわしのおちんぽが
欲しいんだろう？
ほらこの穴に

むにっ
むにっ

いやなら止めたって
いいんだぞ

く
下さいっ

辰野さんのおちんぽを
私のおまんこに……っ
突っ込んで……下さい

あぁっ

どんっ
どんっ
どんっ



この
おちんぼなの

ああ
これよ

あーん

たぶ

あー

たぶ

あーん



いいだろう

ぬぶ

あ...

ああ...
おちんぼ...



もっと深く
おまんこに...

あああ

ズブ

どうやら奥さん
わしのおちんぽが
気に入ったようだな

そ
それは

だんなのと
比べたら
どうだい？

お
夫の…

はあ

はあ

夫のは…その
少しだけ…

粗チンなんだろう？
正直に言うんだ

ぬる
ぬる



は…はい

夫のは細くて短い
そ…粗チンなんです

あっ
だっ

た辰野さん
私ももうっ

おいおい
さすがに
早いだろ

だだ

だが…まだ
止まらんぞ

あッ

ガク

ガク

ブルブル
ブルブル

やれ
やれ

ん

ま待って 私まだ
イッてる途中ッ

ドボッ
ドボッ

た
辰野さん
止めてっ

あッ

あッ

またイッちやう
そんなの無理です

二度目の絶頂は
すぐでした
…そして…



それとも…

ぬちゅ…

おかしくなるまで
イキまくってみるか？

…私は…

私は
もう…

は…

はい

もう： 私の理性は
完全に失われていました

出した事の無い
あえぎ声：

肉体は快感に対して
なんの抵抗もできないまま
反応していました

はッ
はぁぁ

あ
あ
あ

何度も絶頂を続けた私のおまんこは
辰野さんのおちんぽで突かれるたびに
愛液を吹き出しています

もう私の肉体は
辰野さんのおちんぽに
支配されていました

あはあ

711

はあッ

あうッ

お

ちや

ズ
ッ

ズ
ン
ン

おん

ビ
ビ
ユ
ッ

そろそろ
出すか

だ出す
あああ

そうだ
欲しいか？

射…精

今絶対に子宮口が
開いてるから

あの奥にビュツビュツて
精液を当てて欲しい

ぬぽっ
ぬぽっ
ぬぽっ
ぬぽっ

ああ…欲しい
おまんこの奥に
出して欲しい

どうする？
中に出すか
外に出すか

えっ
私が
決めるの？

早く決めろ
おちんぼを抜くか

このまま中に
わしの子種汁を
出すのか

こ
子種…じる

ああ



夫の顔が頭に浮かぶ...

でも...私
わからないの

おちんぽ

すぽすぽ

ぢゅぢゅ
ぢゅぢゅ

ぢゅぢゅ
ぢゅぢゅ

このおちんぽの
事しか私いゝ

止めるなんて
無理なのあゝ

このまま
出してッ

辰野さんの子種汁
私の中に全部
出して下さいゝい







今… また 夫の顔が…
でも… 私… 私ね

ああ…

まだ… 出てる
奥に… 当たってるう

ぐっしよりと濡れた
布団の上で 汗だくの辰野さんとお腹をくつつけてるの…

辰野さんの子種汁を
子宮に注がれているのよ…

辰野さんのふにゃふにゃになったおちんぽが
情けない音を出しながら引き抜かれます…



私は…



私は…

はぁ

はぁ

ブルッ
ブルッ



善意でお世話していた
裏のおじさんに
寝取られる人妻



完

